

[日産]アラウンドビューモニター カメラキャリブレーション (例:セレナ C27)

- 各カメラ及び、カメラ取付け部位の取り外しや交換を行った場合はカメラのキャリブレーションを行い、アラウンドビューモニター C/U へ書き込みを行って下さい。

- 注意:
- 全てのカメラ (順不同) でキャリブレーションを行って下さい。
 - アラウンドビューモニター C/U を交換した場合は、キャリブレーション実施前に「C/U 設定」をサービスマニュアルを参考に行ってください。

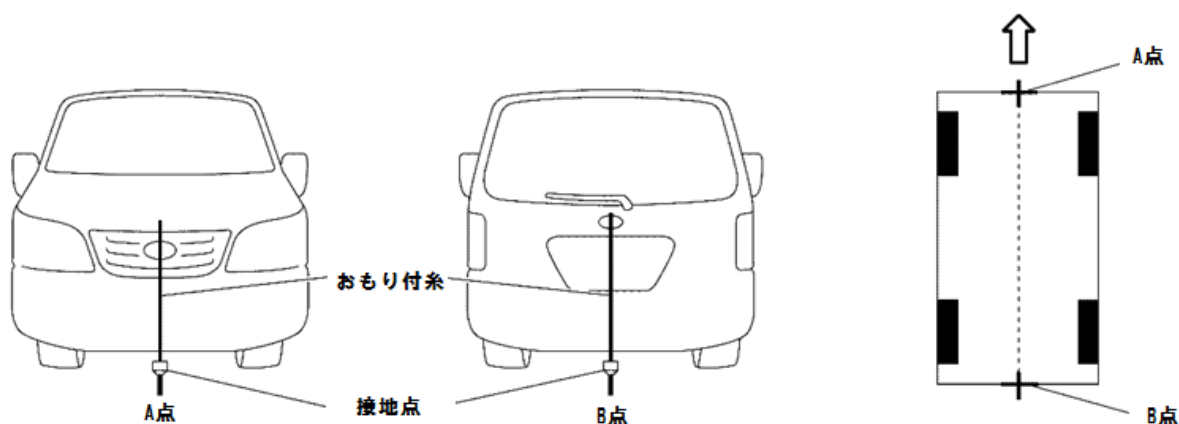
- 参考:
- ターゲット線を引く際は作業を行う床面と似た色を使用せず、はっきりと見て取れる色を使用して下さい。(赤色は使用しないで下さい)
 - ターゲット線が細いと車両のインテリジェントアラウンドビューモニター画面で確認が難しい為 5 cm以上幅がある物を使用して下さい。

手順/操作

● カメラキャリブレーション ※一部イラストは整備書より引用しております

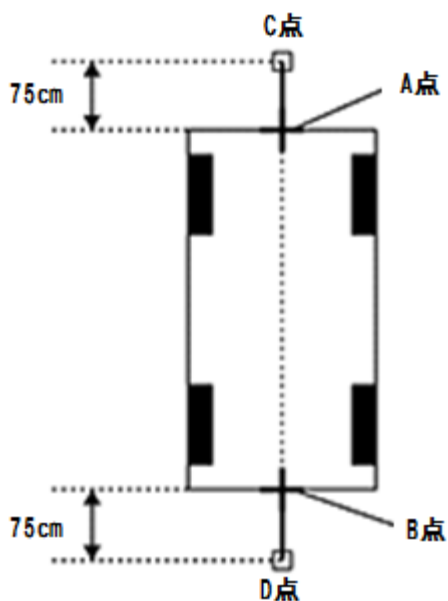
車両前後のエンブレム中心を通る様におもり付糸を床面に対し垂直に垂らし、接地点をマーキングして下さい。車両前面を A 点、車両後面を B 点とします。

1.



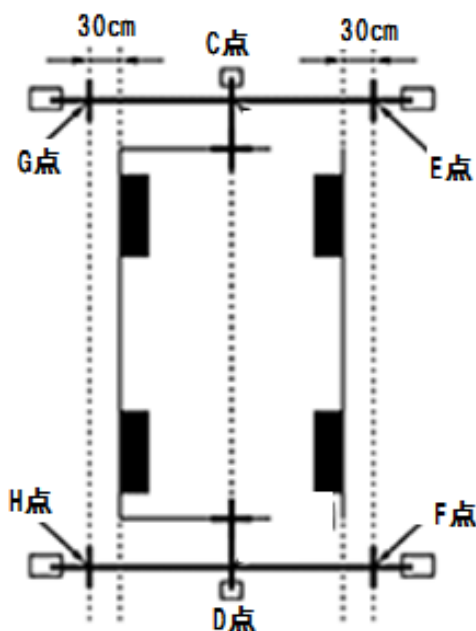
2.

A 点を起点に車両前方 75 cm の位置にマーキングして下さい。ここを C 点とします。
 車両後方も同様に B 点を起点に 75 cm の位置にマーキングして下さい。ここを D 点とします。



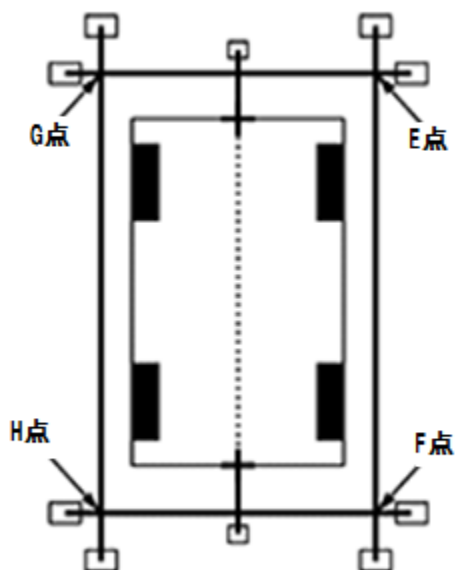
3.

C 点を起点に左右それぞれ $[\text{車幅} \div 2 + 30 \text{ cm}]$ の位置にマーキングして下さい。
 車両前方運転席側を E 点、助手席側を G 点とします。
 車両後方も同様に D 点を起点に $[\text{車幅} \div 2 + 30 \text{ cm}]$ の位置にマーキングして下さい。
 車両後方運転席側を F 点、助手席側を H 点とします。



E点、F点、G点、H点それぞれを結ぶ様にターゲット線を引いて下さい。
 ターゲット線を引くと車両を一周取り囲う様に仕上がります。

4.

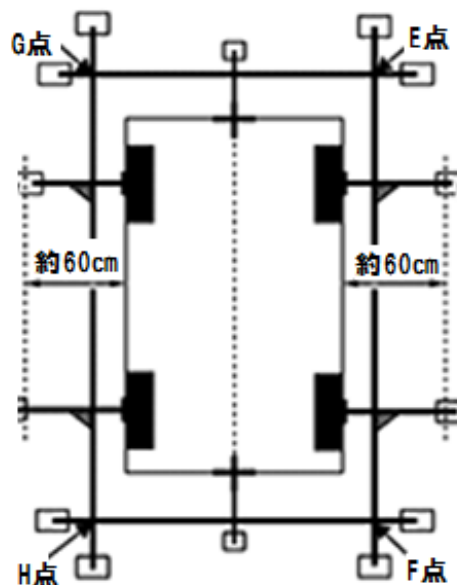
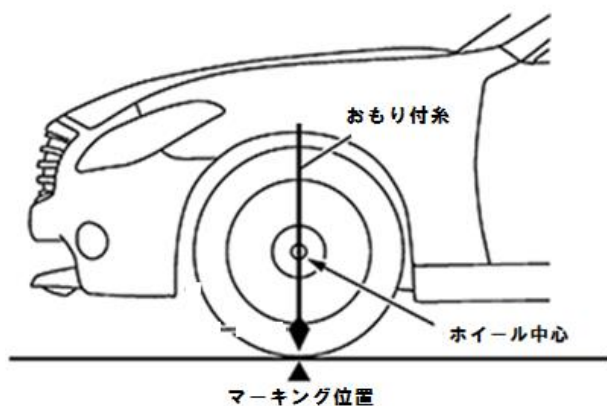


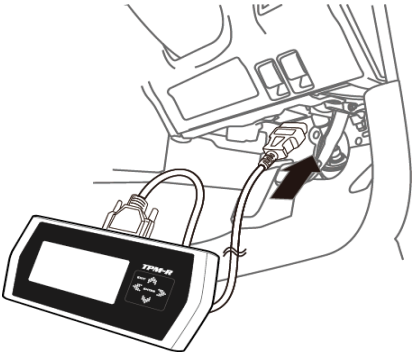

各ホイールの中心を通る様におもり付糸を床面に対し垂直に垂らし、接地点をマーキングして下さい。

運転席側前後ホイールのマーキングしたポイントから、E点とF点を結ぶターゲット線に対し垂直に交わる様に約60cmターゲット線を引いて下さい。

助手席側も同様に前後ホイールのマーキングしたポイントから、G点とH点を結ぶターゲット線に対し垂直に交わる様に約60cmターゲット線を引いて下さい。

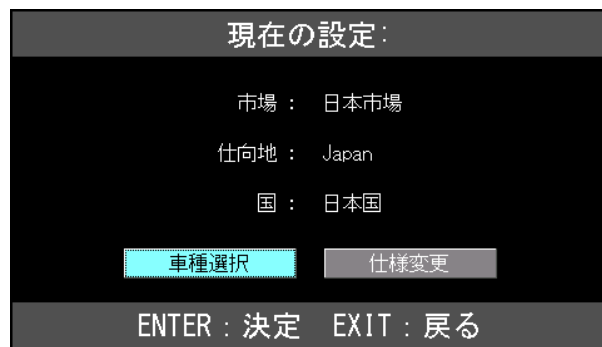
5.



<p>6.</p>	<p>イグニッションスイッチが OFF であることを確認し、TPM-R を車両に接続して下さい。</p>																			
<p>7.</p>	<p>イグニッションスイッチを ON にします。 (ブレーキペダルを踏まずに、 プッシュスタートスイッチを 2 回押します)</p>																			
<p>8.</p>	<p>『メーカー選択』から [国産乗用車]→[日産/インフィニティ]を 選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	<table border="1" data-bbox="858 1301 1465 1637"> <thead> <tr> <th colspan="2">メーカー選択</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国産乗用車</td> <td>トヨタ/レクサス</td> </tr> <tr> <td>輸入車</td> <td>日産/インフィニティ</td> </tr> <tr> <td>国産トラック</td> <td>ホンダ/アキュラ</td> </tr> <tr> <td>OBDII</td> <td>三菱</td> </tr> <tr> <td>HV整備モード</td> <td>スズキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ダイハツ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>マツダ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スバル</td> </tr> </tbody> </table> <p>ENTER : 選択 EXIT : 戻る</p>	メーカー選択		国産乗用車	トヨタ/レクサス	輸入車	日産/インフィニティ	国産トラック	ホンダ/アキュラ	OBDII	三菱	HV整備モード	スズキ		ダイハツ		マツダ		スバル
メーカー選択																				
国産乗用車	トヨタ/レクサス																			
輸入車	日産/インフィニティ																			
国産トラック	ホンダ/アキュラ																			
OBDII	三菱																			
HV整備モード	スズキ																			
	ダイハツ																			
	マツダ																			
	スバル																			

9.

『現在の設定』から[車種選択]を選択し
[ENTER]を押して下さい。



10.

『車種選択』、『型式選択』、『年式選択』から
該当する項目を選択し[ENTER]を押して
下さい。



<p>11.</p>	<p>『日産メインメニュー』から[作業サポート]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>12.</p>	<p>『作業サポート』から[AVM]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>13.</p>	<p>『AVM 作業サポート』から[カメラキャリブレーション (フロントカメラ)]を選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	

14.

カメラキャリブレーションを行います。

内容を確認して[ENTER]を押して下さい。

実行中

そのままお待ち下さい。

カメラキャリブレーション(フロントカメラ)

カメラキャリブレーションを行います。

ENTER : 次へ EXIT : 中止

カメラキャリブレーション(フロントカメラ)

実行中

15.

現在の設定値が表示されます。

数値を確認して[ENTER]を押して下さい。

カメラキャリブレーション(フロントカメラ)

現在の設定値

X座標	0
Y座標	0
回転	16
拡大/縮小	0

ENTER : 次へ EXIT : 中止

16.

X座標、Y座標、回転、拡大/縮小の順に数値を[↑↓]で入力し[ENTER]を押していきます。

X座標、Y座標、回転の入力でキャリブレーションマーカの操作を、拡大/縮小でサイズを調整しターゲット線に合わせます。

入力の際は+/-に注意して下さい。

次工程で「適用」させると入力した数値が反映されます。

※初回キャリブレーション時は現在の状態を確認する為に、あらかじめ入力されている値を変更せず[ENTER]を押して画面を進めて下さい。



17.

手順 16 で入力した数値が表示されます。

内容を確認して[ENTER]を押し適用して下さい。



18.

適用後は車両側のディスプレイにカメラ画像が表示されます。

手順 1~5 で引いたターゲット線とキャリブレーションマーカにずれが無い事を目視で確認して下さい。

ずれがある場合は[EXIT]を押し手順 16 の工程へ戻り、数値を入力しキャリブレーションマーカの位置を調整して下さい。

ずれが無ければ[ENTER]を押して下さい。



19.

ステータスが「書込済」になればキャリブレーション完了となります。

[ENTER]を押して下さい。



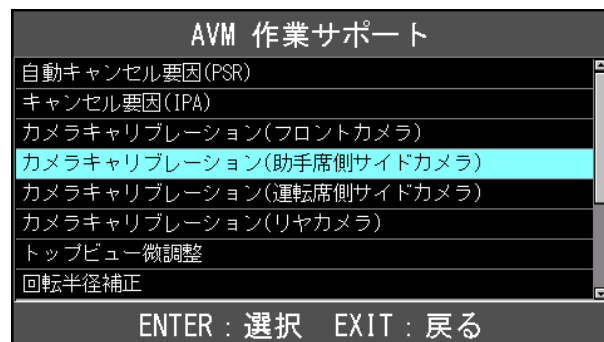
助手席側、運転席側、リヤも同様に
手順 14~19 の要領でキャリブレーションを
行いターゲット線とキャリブレーションマー
カーを合わせて下さい。

助手席側サイドカメラ

運転席側サイドカメラ

リアカメラ

全てのカメラでキャリブレーションを行い
ターゲット線と一致している事が確認出来た
ら『AVM 作業サポート』画面を表示させて
下さい。



20.

<p>21.</p>	<p>『AVM 作業サポート』から [トップビュー微調整]を選択し[ENTER]を 押して下さい。</p>	
<p>22.</p>	<p>トップビューの確認と微調整を行います。 内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>23.</p>	<p>『カメラ選択』から[フロントサイド]を 選択し[ENTER]を押して下さい。</p>	
<p>24.</p>	<p>現在の設定値が表示されます。 内容を確認して[ENTER]を押して下さい。</p>	

手順 16 と同様に X 座標、Y 座標、
 回転、拡大/縮小の順に数値を[↑↓]で入力し
 [ENTER]を押していきます。

X 座標、Y 座標、回転の入力でキャリブレーション
 マーカーの操作を、拡大/縮小でサイズ
 を調整しターゲット線に合わせます。

入力の際は+/-に注意して下さい。

次工程で「適用」させると入力した数値が
 反映されます。



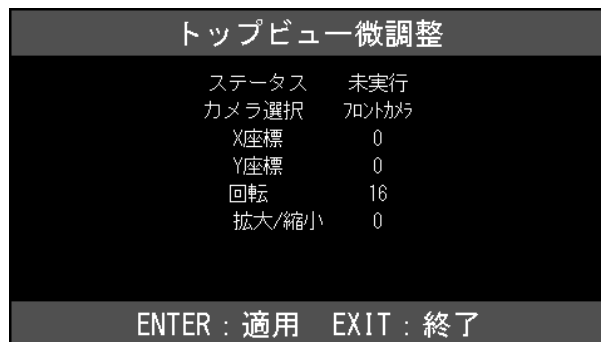
25.

※初回トップビュー微調整時は現在の状態を
 確認する為に、あらかじめ入力されている
 値を変更せず[ENTER]を押して画面を進め
 て下さい。

26.

手順 25 で入力した数値が表示されます。

内容を確認して[ENTER]を押し適用して下さい。



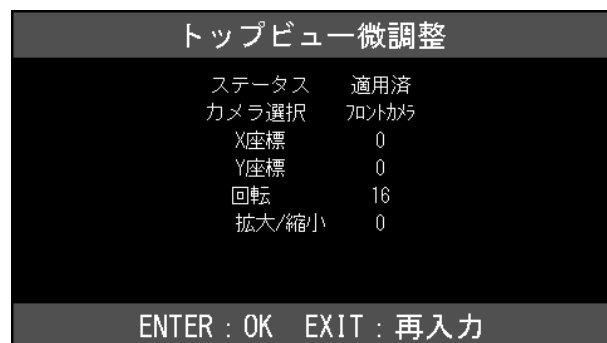
27.

適用後は車両側のディスプレイにカメラ画像が表示されます。

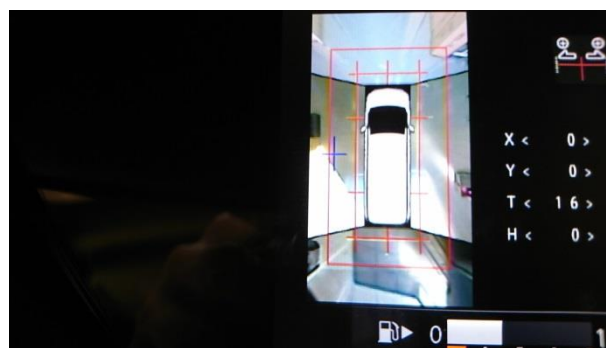
トップビュー微調整はカメラとカメラのつなぎ目を確認する作業になります。

それぞれ4つのカメラのつなぎ目に異常が無ければ調整の必要はありません。

正常な場合は[ENTER]を、つなぎ目に異常があれば[EXIT]を押し手順 25 の工程に戻り各カメラの調整を行って下さい。



参考: 左サイドトップビュー微調整適用時の車両表示



28.

ステータスが「書込済」となれば
トップビュー微調整完了となります。

全てのカメラが正常に表示され、つなぎ目に
問題が無ければ以上で作業完了となります。

[EXIT]を数回押し『日産メインメニュー』
まで画面を戻しイグニッションOFFに
してから安全にTPM-Rを取り外して下さい。

トップビュー微調整	
ステータス	書込済
カメラ選択	701165
X座標	0
Y座標	0
回転	16
拡大/縮小	0
ENTER/EXIT : 終了	

!

上記作業を行ってもカメラの調整が正常に出来ない場合は、メーカー発行のサービスマニュアル
を基に別途調整作業を行って下さい。